



平成 26 年 12 月発行
発行部数 24,000 部
編集・発行
(公財)横浜市緑の協会
横浜市こども植物園

よこはま こども植物園だより

No.140(冬号)

〒232-0066 横浜市南区六ッ川 3-122
Tel 045-741-1015 FAX 045-742-7604
開園 9:00-16:30 (第 3 月曜日は休園、
祝日の場合は翌日)
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp>

公園や市民の森で昆虫を探るときは、広場の
中や道の近くで、草の中や木や落葉をかんさ
つしてみてください。危ないところがあった
り、大切な植物や動物が地面の下にねむっ
ているかもしれないから、道からはずれないよ
うにしましょう。



発見

冬の昆虫をさがそう!

昆虫は春から秋まで活動し、寒い冬を卵や幼虫の
姿で越すものが多いですが、成虫の姿で冬を越す
種類も意外と身近にいるのです。冬の公園や市民の
森にも出かけて探してみませんか?

ホソミオツネトンボ

横浜では珍しいトンボです。オスは青色で、
メスは淡い水色です。横浜では夏から初秋に
かけて羽化します。羽化したばかりは茶色っ
ぽい色をしていて、そのまま日当たりのよい林のふちなど
で冬をこします。とまっている様子は、まるで小枝のよう
です。翌年の早春には水辺で見られるようになります。

枝

林の中

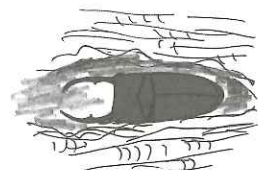
幹

朽木

草地

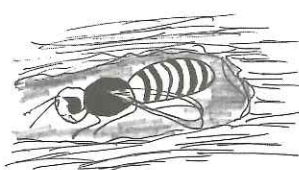
土手

クワガタ



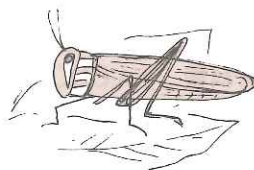
横浜でもっともよく見ら
れるクワガタです。公園
や市民の森など小さな林
にも生息します。冬の間
は木の中でじっとしてい
るので、見つけられるかな。

オオスズメバチ



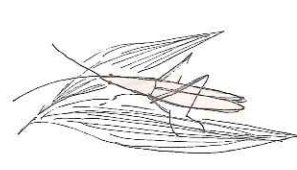
世界最大のスズメバチ。
女王候補は土の中やく
さった木の中で冬をこし、
次の春、新しい巣を作り
ます。冬の間は活動がに
ぶく刺されることはありませんが触らないように
しましょう。

ツチイナゴ



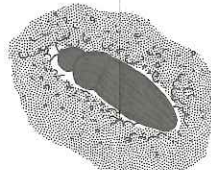
複眼(昆虫のたくさんあ
る目のこと)の下に涙が
流れるような模様がある
大型のバッタ。背の高い
草原を好みます。冬の間
は草の陰(かげ)や落葉
の陰(かげ)でじっとし
ています。

クビキリギス



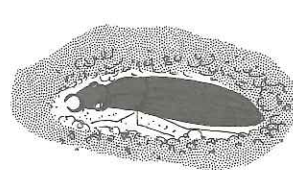
草原で見られるキリギリ
スの仲間。街中の公園や
家の庭にも生息します。
冬はススキなどの株に
もぐりこんだり、落葉の
陰でじっとしています。

アオオサムシ



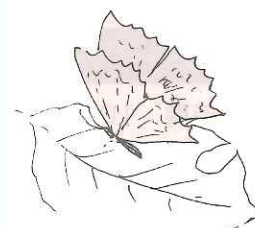
地域によって色が変わ
ります。横浜で見られる
ものは、もっとも良く見
られる金属光沢がある緑色
をしています。日当たり
のよい土手の中やくさ
った木の中で冬をこします。

オオゴミムシ



横浜では公園などでよく
見られる大型のゴミムシ。
草地や石の下に見られ
ます。日当たりが良い土手
の中やくさった木の中で
冬をこします。

キタテハ



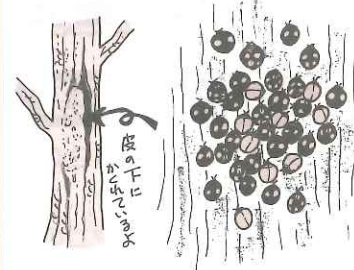
冬以外は荒地や草原、
林の縁などいろんな場
所でよく見られます。
冬の間は枯葉のような
姿で枯葉の上などで冬
を越す(擬態といいま
す)ため、見つけにく
い!気温の高い日は冬
でも活動します。

ウラギンシジミ



公園や市民の森でよく
見られる身近なシジミ
チョウ。翅(はね)
の裏側が銀白色をし
ています。晩秋に羽
化(幼虫から成虫に
なること)したものはそのまま冬をこ
します。

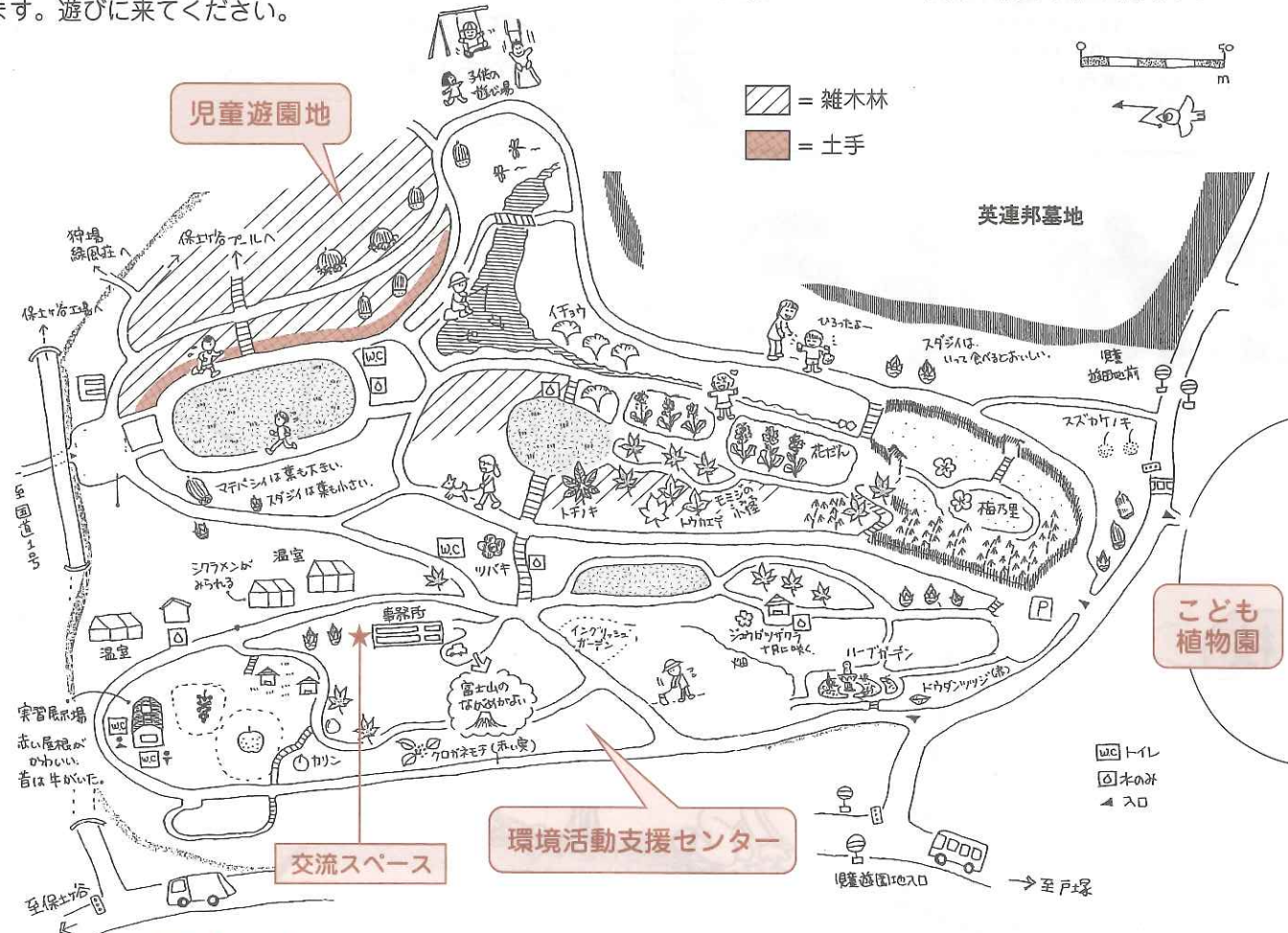
ナミテントウ



雑木林や小さな草地でよく
見られる身近なテントウム
シです。模様には 4 つの型が
ありますが、横浜で見られ
るものは黒地に赤い二つの
大きな紋(もん)がある「二
紋型」が多いように思います。
木の皮の下などに集まって
みんなで冬をこします。

狩場の丘で冬の昆虫を探そう！

こども植物園のある狩場の丘には、道路をはさんで児童遊園地と環境活動支援センターもあります。雑木林や草地、土手もあるのでいろんな昆虫が見られます。環境活動支援センター交流スペースでは市内の市民の森の案内もしています。遊びに来てください。



【問い合わせ】
環境活動支援センター TEL 045-711-0635
交流スペース TEL 045-713-6350
横浜市こども植物園 TEL 045-741-1015

バス停
◆ 神奈中バス ◆ 「児童遊園地入り口」でおりてね。
◆ 市営バス ◆ 53・79系統「児童遊園地前」でおりてね。

(イラスト: 中村明世)

野菜畑 冬の作業

春号でスタートした畑づくり。季節の作業をアドバイスします。

A

キャベツは開いていた葉が丸まってきて、固くまいたら収穫できる。ブロッコリーもつぼみが大きく固くなったら収穫だ。

B

ソラマメとタマネギは寒さ対策が必要だ。ワラなどを株と株の間に敷いて霜よけしよう。

○春からの計画づくり○
4月からの作付計画を冬の間に作ろう。連作障害を起こさないように計画を立てて、いろんな野菜を作ってみよう。

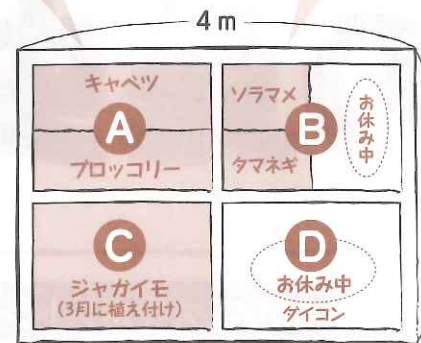
※寒起し
霜柱が立つ冬の間に、畑の土をスコップなどで50cmくらい掘り起し、寒さにあてることを「寒起し」というんだ。日光にさらして、病害虫もでにくくなるといわれている。土もフカフカになるんだ。

C

サツマイモのあとは春のジャガイモまでお休みだ。寒起し*をやってみよう。2月になったら3月にジャガイモを植えるための土づくりをしよう。ジャガイモ ナス科。種イモとして売っているイモを買ってきて植え付ける。病気になるので、食用のジャガイモを植えてはいけないんだ。小さなイモはそのまま、大きなイモは芽をつけて2つに切り分け、切り口に灰を付けるか乾かして植えつけよう。畝幅60cm、株間30cm。

D

ダイコンは品種によっては2月くらいまで収穫できるけれど、花が咲くクキが伸びてしまうとまずくなる。首の太さが6cmから7cmくらいになったら収穫しよう。収穫後は春までお休み。



横浜市こども植物園 冬のイベント

お正月遊びをしよう！

◆こま回し&カルタ大会◆

こまを作って回しましょう。植物園オリジナルかるたも楽しみましょう。参加者にはお汁粉のサービスも。

日時：1月4日(日) 13:30~15:00
場所：展示室
費用：無料
申込：当日

◆竹馬や羽つき、福笑いやスゴロクで遊ぼう◆

日時：1月4日(日)~6日(火) 10:00~15:00
場所：池の前広場と展示室
申込：当日自由に遊んでください

展 示

◆めでたい植作品展◆

期間：1月5日(月)~12日(月・祝)
場所：池の前広場

親子で楽しむクラフト

3歳児から小学生と保護者の方でご参加ください。

◆お雛様作り◆

自然素材でお雛様を作ります。
日時：2月22日(日) 10:00~12:00
材料費：材料1人300円
申込：2月13日(金) までに申し込み。

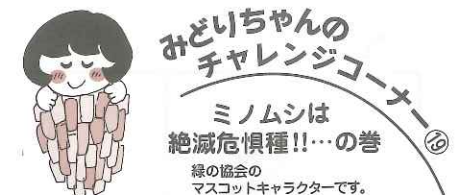
◆草木染め教室◆

園内の植物で染色体験をします。
日時：3月8日(日) 10:00~12:00
材料費：1人500円
申込：2月26日(木) までに申し込み。

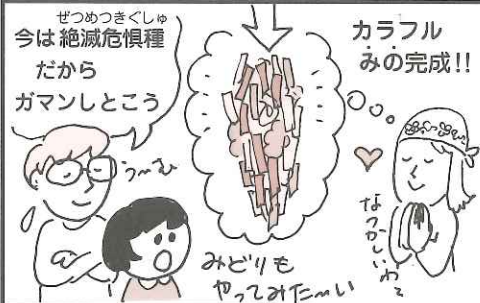
以上いずれも 場所：研修室 定員：10組

雛祭り

折り紙やチギリ絵でモモの花を作りましょう。ひな人形も飾ります。
期間：2月21日(土)~3月3日(火)
場所：緑の相談所前
参加自由、無料



カラフルみもの作りかた



◆ 申込方法 ◆

【教室名】【開催日】【保護者氏名】【お子様氏名・年齢】【ご住所】【電話番号】を明記の上、ハガキ・Fax・電子メールで申し込み締切日までに申し込みください。ハガキの場合は締切当日必着です。お申し込み頂いた方には、教室開催前の1週間前を目安に、教室の詳しいご案内をハガキ、Faxでお申し込みの方は郵送で、電子メールでお申し込みの方はメールでお知らせいたします。なお、応募多数の場合は抽選し当否をお知らせいたします。

メールアドレス：
r-moushikomi.199@hama-midorinokyokai.or.jp
※お電話での受け付けはいたしませんので、ご注意ください。

環境活動支援センター交流スペースイベント

自然観察 生き物編

時間：10:00~12:00
開催日・内容：
1月25日(日) ヤゴの世界
2月22日(日) ペットボトルピオトープづくり
3月22日(日) のぞいてみよう池の中

植物観察と自然遊び

時間：10:00~11:30
開催日・内容：
1月11日(日) 木と友達になろう
2月1日(日) 鳥の観察
3月29日(日) 春の野草観察
雨天中止(傘をさすような天気の際は中止です)

クラフト遊び

時間：10:00~15:30
1月4日(日) タコづくり
2月8日(日) ドングリお雛様づくり
以上いずれも
申込はいりません。開催日に交流スペースにおいでください。無料です。
問い合わせ：045-713-6350
(土・日・祝の9時~17時のみとなります)

